



 blog cms

管理者マニュアル





for Ver.3.0 2022.06.10

a-blog cms 管理者マニュアル

1. はじめに

このマニュアルの内容について	6
----------------	---

2. 基本編

 ログイン	7
ログインするには？	7
「ユーザーIDまたはパスワードが違います。」と表示されたら？	7
パスワードを忘れてしまったら？	8
2段階認証を設定する	9
ログイン試行回数を制限する「アカウントロック」	12
 管理ページと各管理機能へのアクセス	13
a-blog cmsの管理ページとは？	13
ダッシュボードとは？	13
各種機能へのアクセス	13
a-blog cmsのブログ構造と管理ページ	14
 ダッシュボードで管理できる内容	15
よく使う機能へのショートカット	15
バージョンの確認	15
キャッシュファイルの管理	15
メンテナンスモード	17
 エントリーの管理	18
エントリー管理でできること	18
一覧からのエントリー管理	18
エントリー一覧画面での管理	18

個別エントリーに対する編集・複製・削除処理	18
複数のエントリーを一括して処理	19
エントリー表示順の変更	19
エントリーのまとめて操作	19
❀ ゴミ箱について	22
エントリーの削除の実態	22
完全削除	22
❀ カテゴリーの管理	23
一覧からのカテゴリー管理	23
カテゴリー一覧画面での管理	23
個別カテゴリーに対する編集処理（公開/非公開や名称などの変更）	23
複数のカテゴリーを一括して処理	23
カテゴリーの削除	24
カテゴリーの管理についての注意	24
❀ タグの管理	25
一覧からのタグ管理	25
タグの管理（名称の変更、タグの削除）	25
タグの追加	25
❀ ブログの管理	26
a-blog cmsのブログ構造	26
ブログ情報の編集	26
子ブログの管理	26
ブログの管理についての注意	27
❀ ユーザーの管理	28
ユーザーの作成	28
ユーザーの作成についての制限	28

ユーザーの権限について	29
所属ブログとユーザーの権限について	29
ログインパスワードを変更・再設定する	29
❖ フォームの管理	30
フォームIDについて	30
フォームIDの一覧でできること	30
フォームごとの宛先とテンプレートの指定	30
投稿されたデータの確認	31
投稿されたデータの削除	31
投稿されたデータのダウンロード	31
❖ スケジュールの管理	32
スケジュールセットとは	32
登録データの確認と編集	32
ラベルの設定	33
❖ バックアップと復元	34
バックアップと復元について	34
a-blog cmsのバックアップに必要なデータ	34
エクスポート・インポート時の注意事項	34
データベースをバックアップする	34
アーカイブディレクトリをバックアップする	35
バックアップデータからリストア（復元）する	35
❖ アクセス制限について	37
ブログ単位のアクセス制限	37
3. 応用編	
❖ さまざまなユニット	38
ユニットの追加	38

標準マップ	38
Google マップ	39
ストリートビュー	39
ビデオ	39
画像URL	40
引用	41
入力欄	41
表示例	41
メディア	41
カスタム	42
❀ メールマガジン機能	43
a-blog cmsのメールマガジン機能とは	43
配信先について	43
メールマガジンのメールの設定	43
テンプレートの準備	44
配信までの流れ	45
❀ メディア管理	46
メディア管理とは	46
メディアファイルのアップロード	46
メディアファイルで扱えるファイル形式	47
エントリー内でメディアファイルを使用する準備	47
エントリー内でメディアファイルを使用する	49
❀ バージョン管理	50
a-blog cms のバージョン管理機能とは	50
エントリーの作成	50
バージョンの確認と管理	51
バージョン管理パネルの役割	52

❖ SNSログイン機能	54
SNSログインとは	54
Facebook 側の設定	54
Twitter 側の設定	55
Google側の設定	57
LINE側の設定	60
a-blog cms の管理画面	
62	
LINEのチャンネルページにある LINE ID とLINE secret	
62	
Callback URLを登録する	
63	
LINEログインを使用したいユーザーを認証する	
63	
実際にLINEログインを使用する	
64	
a-blog cms 側の設定	65
ログインするには	67
❖ カート機能	68
カート機能	68
主な機能	68
ご利用の前に	68
Ver. 1.x との違い	68
❖ レイアウト機能	69
レイアウト、モジュールの追加・配置・変更	71

1. はじめに

この文書は、a-blog cmsを使用してサイトを管理する方のためのマニュアルです。

説明に使用している機能や画面は、a-blog cms Ver. 3.0 と、同梱されている公式テーマ（Site・Blog）を使用しています。

公式テーマ以外のカスタマイズされたテーマやオリジナルの拡張アプリなどをご利用の場合には、説明や画面が一致しない場合があります。ご了承ください。

このマニュアルの内容について

このマニュアルでは、基本的にa-blog cmsのユーザーの権限「管理者」が操作できる内容の中でも、特にサイト運営に関わる内容について記述しています。

管理者ユーザーはa-blog cmsのブログ構造をはじめとした全ての内容に対して追加、変更、削除の権限がありますが、操作する内容によっては、公開しているサイトの構造や表示を大きく変えてしまう場合があります。

a-blog cms全体に大きな影響を与える内容については個別に注意書きを添えています。これらの操作につきましては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

2. 基本編

❖ ログイン

ログインするには？

a-blog cmsを管理するためには、a-blog cmsへのログインが必要です。

ログインする場所は、以下になります。

▶ <http://a-blog cmsの設置場所/login/>

ユーザーID/メールアドレス、パスワードの各欄に、管理者が発行した情報を入力し、[ログイン]ボタンでログイン完了です。



「ユーザーIDまたはパスワードが違います。」と表示されたら？

[ログイン]ボタンをクリックした時にユーザーIDまたはパスワードが違います。と表示された場合は、以下のような問題が考えられます。

- メールアドレス、パスワードに全角が混ざっていないか？
ログイン情報は半角英数字で入力する必要があります。
例) 全角=A B C D E 半角=ABCDE
- スペースが入っていないか？
特に情報をコピー&ペースト（貼付け）した際に起こりやすい問題です

パスワードを忘れてしまったら？

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを再発行しましょう。

登録してあるメールアドレスを入力すると、パスワードを変更するためのリンクと新しいパスワードがメールで送られてきます。メールの内容に従って新しいパスワードでログインしてください。

一般ユーザーがパスワードを忘れてしまった場合にも同じ方法でパスワードを再送できますが、登録メールアドレスを忘れてしまった場合には、管理者がパスワードを再設定することで復旧できます。

2段階認証を設定する

2段階認証を設定すると、ログインページでユーザーIDとパスワードの入力だけではなく、スマホアプリからの認証も必須になります。ログインを2段階にすることで、本人以外による不正ログインを防ぎます。

2段階認証の設定は、管理画面>コンフィグ>ログイン設定の順にページを移動し、「2段階認証」の項目を有効にします。



セキュリティ

ログインクッキー有効時間 ?	<input type="text" value="864000"/>	秒
アカウントロック ?	<input type="text" value="5"/> 分の間に <input type="text" value="5"/> 回パスワードが間違った場合、アカウントをロックする	
アカウントロック時間 ?	<input type="text" value="5"/> 分間ロックする	
パスワード変更の有効時間 ?	<input type="text" value="15"/> 分間	
2段階認証 ?	<input checked="" type="checkbox"/>	設定できるようにする

名前 ?	<input type="text" value="管理者"/>	(日本語可)
ユーザーID ?	<input type="text" value="admin"/>	(英数字)
アイコン画像 ?		
	<input type="checkbox"/> 削除	<input type="text" value="ファイルを選択"/> 選択されていません
メールアドレス ?	<input type="text" value="morita@appleple.com"/>	<input checked="" type="checkbox"/> メールマガジンを受け取る (HTML)
URL ?	<input type="text"/>	
パスワード ?	<input type="button" value="変更"/>	
2段階認証 ?	<input type="button" value="設定する"/>	

ユーザー一覧のページに移動し、2段階認証を有効にしたいユーザーを選び「変更」ボタンをクリックします。

認証の設定画面へ移動します。認証コード生成用のアプリにシークレットキーを設定します。Androidをお使いの場合は、Google Authenticator for Android、iOSをお使いの方はGoogle Authenticator for iOSのアプリをインストールしてください。

インストールしたアプリで、管理画面内に表示されているQRコードを読み取るか、手動でシークレットキーを設定してください。



アプリ内に表示された数字を管理画面に入力します。





「認証」ボタンをクリックして認証します。



Google Authenticator for iOSに
表示された数字

リカバリーコード

成功すると、リカバリーコードが表示されます。このリカバリーコードは一度しか表示されないため、どこかにメモをしてください。

リカバリーコードはログインボタン以降にあるリンクより利用できます。



ログイン試行回数を制限する「アカウントロック」

アカウントロック機能では、パスワード入力の試行回数を制限できます。**管理画面>コンフィグ>ログイン設定**から設定できます。

セキュリティ

ログインクッキー有効時間 ?	<input type="text" value="864000"/>	秒
アカウントロック ?	<input type="text" value="5"/>	分の間に <input type="text" value="5"/> 回パスワードが間違った場合、アカウントをロックする
アカウントロック時間 ?	<input type="text" value="5"/>	分間ロックする
パスワード変更の有効時間 ?	<input type="text" value="15"/>	分間
2段階認証 ?	<input checked="" type="checkbox"/>	設定できるようにする

アカウントロック機能は、ブルートフォースアタックからサイトを守るための機能です。ブルートフォースアタックというのは、パスワードを特定するために、使用できる文字の全ての組み合わせを試行し、不正ログインを試みる攻撃のことです。

アカウントロック機能ではロックする条件と、ロックする時間が設定可能です。

❀ 管理ページと各管理機能へのアクセス

a-blog cmsの管理ページとは？

a-blog cmsの管理ページは、エントリーの追加や変更とは別に、様々な管理機能をまとめた管理ページとして存在します。

ダッシュボードとは？

The screenshot displays the a-blog cms dashboard interface. On the left is a navigation sidebar with categories like 'Site Management', 'User Management', and 'System Management'. The main content area is titled 'ダッシュボード' (Dashboard) and contains several sections:

- リンク集 (Link Collection):** Includes links for 'Google アナリティクス' and 'Google Search Console'.
- ショートカット (Shortcuts):** Includes 'トップページのメイン画像', 'グローバルナビゲーションの項目', 'サイドエリアのバナー', and 'サイドエリアのリンク集'.
- システム・ライセンス情報 (詳細) (System & License Information):** A table showing system details.

項目	状態
バージョン	3.0.10
エディション	Professional
ライセンスステータス	認証済み (サブスクリプション)
ユーザーの上限	1/20
サブドメイン拡張	利用可能
メールマガジン拡張	利用可能
- メンテナンスモード (Maintenance Mode):** A table showing the current status and settings.

状態	出力ページのHTTPステータス	設定
-	503 (サービス利用不可) ページ	メンテナンスを開始
- キャッシュ管理 (Cache Management):** A section for clearing caches, including options for 'ページキャッシュ', 'テンプレートキャッシュ', 'コンフィグキャッシュ', 'カスタムフィールドキャッシュ', and '一時的なキャッシュ'.
- ログイン履歴 (Login History):** A table showing the last login time and user details.

最終ログイン日時	ユーザー/権限
2021-09-28 17:59:19	admin/ 管理者

a-blog cms の管理ページに移動すると、最初にダッシュボードと呼ばれるページが表示されます。これはライセンスやバージョンの情報、ユーザーのログイン履歴や下書きとなっているエントリーなど、サイトの基本情報が掲載されています。

各種機能へのアクセス

管理ページで必要になる各種機能へのアクセスは、画面左側のサブカラムに集約されています。サイト管理者として必要になるのは、主にエントリーの管理やユーザーの管理となります。これら必要な項目については後述します。

a-blog cmsのブログ構造と管理ページ

a-blog cmsでは、**ブログ**という単位でコンテンツを管理しています。例外的に子ブログへ設定を引き継ぐものもありますが、ユーザーを含む様々な設定は基本的にはブログ単位で行われます。管理ページはブログごとに存在しますので、管理したいブログから管理ページに移動するか、管理ページ内左上のブログナビゲーションから管理するブログを選択してください。

🌸 ダッシュボードで管理できる内容

よく使う機能へのショートカット

a-blog cms管理ページでは、コンフィグの各種設定ページについて、トップページにショートカット（リンク）を設定できます。よく使う機能は、わかりやすい説明をつけてショートカット化しておくとしやすくなります。

ショートカットが作成できるページは、画面左上に「ショートカットに追加」というボタンがあります。

バージョンの確認

ダッシュボードには、現在ご利用中のa-blog cmsの情報が表示されています。

ライセンス・バージョン情報として、ライセンス種別やa-blog cmsのバージョン、追加しているオプションの情報はこちらでご確認ください。

ユーザーフォーラムやメールサポートでの質問の際にこれらの情報があると、解決の手がかりになります。

キャッシュファイルの管理

a-blog cms では複数のキャッシュを使い、パフォーマンスを高めています。ページキャッシュ以外のキャッシュは「ルートブログ」で「編集者以上」のユーザーのみキャッシュのクリアが可能です。

クリアしたいキャッシュにチェックをつけて「キャッシュをクリア」ボタンを押してください。

ダッシュボード

リンク集

- [🔗 Google アナリティクス](#)
- [🔗 Google Search Console](#)

ショートカット

- [🔗 トップページメイン画像](#)
- [🔗 グローバルナビゲーションの項目](#)
- [🔗 サイドエリアのパナー](#)
- [🔗 サイドエリアのリンク集](#)

システム・ライセンス情報 (詳細)

項目	状態
バージョン	3.0.10
エディション	Professional
ライセンスステータス	認証済み (サブスクリプション)
ユーザーの上限	1 / 20
サブドメイン拡張	利用可能
メールマガジン拡張	利用可能

キャッシュクリア

クリア対象

- ページ キャッシュ
- テンプレート キャッシュ
- コンフィグ キャッシュ
- カスタムフィールド キャッシュ
- 一時的なキャッシュ

キャッシュをクリア

ルートブログのキャッシュクリア

キャッシュクリア

クリア対象

- ページ キャッシュ

キャッシュをクリア

子ブログのキャッシュクリア

キャッシュファイルの有効期限

キャッシュは以下の条件で有効期限切れとなります。

- 指定した有効期限が切れた時
- 管理画面上でキャッシュをクリアした時
- 該当するエントリーが更新された時
- 該当するコンフィグやコンテンツが更新された時

また、管理ページ>コンフィグ>機能設定 より、キャッシュの有効期限、子ブログが更新されたときにもキャッシュをリフレッシュするなどの設定ができます。

メンテナンスモード

メンテナンスモードとは、ダッシュボードの画面からウェブサイトの表示をメンテナンス用テンプレートに切り替える仕組みです。メンテナンス用テンプレートは事前に用意しておく必要があります。

メンテナンス表示用の画面は管理者以外に適用され、管理者には通常通りのウェブサイトが表示されます。

メンテナンスモード

管理者以外のこのブログ以下へのアクセスをメンテナンス表示にします。

状態	出力ページのHTTPステータス	設定
-	503 (サービス利用不可) ページ ▾	<input type="button" value="メンテナンスを開始"/>

メンテナンスモードに切り替えるためには「メンテナンス開始」ボタンをクリックし、終了時には「メンテナンス終了」ボタンをクリックします。

メンテナンスモード

管理者以外のこのブログ以下へのアクセスをメンテナンス表示にします。

状態	出力ページのHTTPステータス	設定
メンテナンス中	503 (サービス利用不可) ページ	<input type="button" value="メンテナンスを終了"/>

「メンテナンス開始」ボタンをクリックした後の表示 ↑

出力ページのHTTPステータスに関しては、メンテナンスページを利用する用途に応じて使い分けます。

出力ページのHTTPステータス	使用するケース
503 (サービス利用不可ページ)	工事中の表示など、Googleなどのロボットにインデックスされたくないときに使用する
200 (正常ページ)	ティザーサイトなどGoogleなどのロボットにインデックスされてもいい正常なページを表示したいときに使用する

✿ エントリーの管理

エントリー管理でできること

a-blog cmsでは、通常は投稿者以上の権限を持つユーザーが、自分が所属するブログに対してエントリーを作成・編集していきます。

管理者としてのエントリー管理は、エントリーの詳細ページでは出来ない、**複数エントリーに対する一括処理**や**エントリーが所属するブログ、エントリーのオーナーとなるユーザーの変更**などが主な役割となります。

一覧からのエントリー管理

エントリーの作成は、投稿者以上の権限を持つユーザーがそれぞれ行いますが、ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー**[エントリー]**から、エントリーの一覧画面へ移動します。

エントリー一覧画面での管理

この画面では、そのブログに登録されているエントリーが一覧で表示されています。

ここではエントリー全体の情報をみることもできますし、絞り込み機能によって、エントリーの情報（ブログ、カテゴリ、ユーザー、公開情報など）で任意で絞り込んで一覧を表示することもできます。

このページでの役割は大きく2つで、1つは「**個別エントリーに対する編集・複製・削除処理**」で、2つ目は「**複数のエントリーを一括して処理**」です。

ID	ステータス	タイトル/コード	日時	ブログ/カテゴリ	ユーザー
22	公開	トップページ	2020/07/18 17:04	Site	admin
19	公開	会社概要	2019/04/01 15:59	Site	admin
14	公開	アクセス	2019/03/26 19:46	Site	admin
18	公開	スタッフ紹介	2019/03/26 18:40	Site	admin
20	公開	ホームページリニューアルしました	2019/03/26 14:57	Site	admin
2	公開	ユニットによる営業の開始	2019/03/26 12:30	Site	admin
1	公開	新規のポスト	2019/03/25 23:24	Site	admin
21	公開	ブログ（ローボリシー	2018/03/20 17:39	Site	admin
17	公開	物件情報1	2018/02/23 12:25	Site	admin
16	公開	物件情報2	2018/02/23 12:25	Site	admin
15	公開	物件情報3	2018/02/23 12:24	Site	admin
13	公開	営業	2018/02/13 19:14	Site	admin
12	公開	営業時間	2018/02/13 16:50	Site	admin
11	公開	営業時間	2018/02/13 16:00	Site	admin

個別エントリーに対する編集・複製・削除処理

エントリー個別に対しての編集や複製、削除は、各エントリーの右端にあるプルダウンからできます。編集画面は、一般ユーザーがエントリーを編集する方法と同様のものとなります。



複数のエントリーを一括して処理

このエントリーの一覧では、複数のエントリーに対して、一括して以下の処理ができます。

- 表示順の変更
- ステータスの変更
- エントリーの持ち主となるユーザーの変更
- エントリーが所属するカテゴリの変更
- エントリーが所属するブログの変更
- 複数のエントリーの複製
- 複数のエントリーの削除

これらの処理を行いたいエントリーの一覧表示の左側のチェックをして、一覧左上の選択肢から処理を選ぶことで、チェック済みのエントリーに対して一括で処理が行われます。

エントリー表示順の変更

エントリーの一覧表示などで、表示順を変更したい場合があります。表示順については、各モジュールIDの設定に依存するため、カスタマイズ担当者にご確認いただく必要があります。

日付順であれば個別エントリーの日付部分で、表示順であれば管理ページのエントリーの一覧でそれぞれ変更できます。

エントリーのまとめて操作

エントリーのまとめて操作では、エントリーが持っている情報を一括変更できます。

まとめて操作で変更可能な項目

- ステータス
- カテゴリ
- サブカテゴリ
- タグ
- 日時
- 公開日時

- 掲載期限
- インデキシング
- リンク先URL
- ユーザー
- キーワード
- 検索エンジン
- サイトマップ
- RSS
- カスタムフィールド の値（※カスタマイズした場合のみ）

使い方

管理画面>エントリーの順にページを移動し、「まとめて操作」のボタンをクリックして行えます。

エントリー管理

検索条件 カテゴリー 全ての 카테고리 ▼ キーワード タイトル・本文・カスタムフィールドから検索（複数指定可）

検索 **まとめて操作** 詳細検索

変更したいエントリーにチェックをつけて、「選択したエントリーを操作」をクリックします。

該当のエントリーが見つげづらい場合は、検索フィルターを使用します。

一括変更

手順 1/3: 操作エントリーの選択

検索条件 カテゴリー 物件情報 (30) ▼ キーワード タイトル・本文・カスタムフィールドから検索（複数指定可）

検索 詳細検索

選択したエントリーを操作 入力項目設定

<input type="checkbox"/>	ID	ステータス	タイトル/コード	日時	ブログ/カテゴリー	ユーザー
<input checked="" type="checkbox"/>	1002	公開	物件情報28 entry-1002.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	992	公開	物件情報18 entry-992.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
<input type="checkbox"/>	990	公開	物件情報16 entry-990.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	984	公開	物件情報10 entry-984.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	980	公開	物件情報7 entry-980.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
<input checked="" type="checkbox"/>	988	公開	物件情報24 entry-998.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者
<input type="checkbox"/>	985	公開	物件情報11 entry-985.html	2019/11/14 16:42	ビギナーテーマ 物件情報	管理者

手順 2/3:操作の選択の画面まで進んだら、変更したい変更項目にチェックをつけ、変更値を入力します。（カスタマイズされている場合は、カスタムフィールドの内容も変更可能です）

一括変更

手順 2/3: 操作の選択

[戻る](#) [最終確認画面へ](#)

変更項目	変更値
<input checked="" type="checkbox"/> ステータスの変更	公開
<input checked="" type="checkbox"/> カテゴリーの変更	お知らせ (4)
<input type="checkbox"/> サブカテゴリーの変更	サブカテゴリーを選択します。(キーワードを入れて絞り込み)
<input type="checkbox"/> タグの変更	タグを選択もしくは、新しいタグを入力します。(キーワードを入れて絞り込み)
<input checked="" type="checkbox"/> 日時の変更	2019-12-24
<input type="checkbox"/> 公開日時の変更	
<input type="checkbox"/> 掲載期限の変更	
<input type="checkbox"/> インデキシングの変更	<input type="checkbox"/> 一覧に表示する
<input type="checkbox"/> リンクURLの変更	
<input type="checkbox"/> 所有者の変更	管理者
<input type="checkbox"/> キーワード	
<input type="checkbox"/> 検索エンジン	<input type="checkbox"/> 検索エンジンに表示しない
<input type="checkbox"/> サイトマップ	<input type="checkbox"/> サイトマップに表示しない
<input type="checkbox"/> RSS	<input type="checkbox"/> RSSに表示しない

手順 3/3: 最終確認・実行の画面まで進んだら、変換内容を確認して問題がなければ「一括変更を実行」をクリックします。

一括変更

手順 3/3: 最終確認・実行

[戻る](#) [一括変更を実行](#)

変換内容

操作	設定値
ステータスの変更	open
カテゴリーの変更	お知らせ
日時の変更	2019-12-24 10:48:53

対象エントリー

eid	ステータス	タイトル	コード	日時	カテゴリー	ユーザー
980	公開	物件情報7	entry-980.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
984	公開	物件情報10	entry-984.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
992	公開	物件情報18	entry-992.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
998	公開	物件情報24	entry-998.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者
1002	公開	物件情報28	entry-1002.html	2019/11/14 16:42	物件情報	管理者

✿ ゴミ箱について

エントリーの削除の実態

a-blog cmsでは、エントリーの編集ページや管理ページのエントリー一覧からエントリーの削除を行います。

しかし、この時点では完全に削除しておらず、管理ページの「ゴミ箱」へ移動した状態となります。



ゴミ箱内のエントリーは、公開サイト上では存在しないものとなり、ログイン状態でも非公開として表示されるということもありません。このゴミ箱画面でのみ確認・操作できます。

完全削除

削除＝ゴミ箱に入ったエントリーのデータを完全に削除してしまう場合には、リストから削除したいエントリーを選択して、画面左上のメニューから**完全削除**を選択して削除します。

この操作を行った場合、a-blog cmsでは**エントリーを復元することはできません**。



復元

ゴミ箱に入ったエントリーは、復元できます。

復元した場合はバージョン情報を保持した状態で、非公開で再度サイト上に表示されます。

❁ カテゴリーの管理

一覧からのカテゴリー管理

ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー[カテゴリー]から、カテゴリーの一覧画面へ移動します。

カテゴリー一覧画面での管理

この画面では、そのブログに登録されているカテゴリーが一覧で表示されています。

このページでの役割は大きく2つで、1つは「個別カテゴリーに対する編集処理」で、2つ目は「複数のカテゴリーを一括して処理」です。

表示順	ステータス	カテゴリー名	ID / コード	エントリー数	コンフィグセット	グローバル	アクション
1	公開	お知らせ	38 news	3	-	-	変更
2	公開	製品情報	39 products	0	製品情報	-	変更 子カテゴリー
3	公開	会社概要	40 company	3	-	-	変更
4	公開	お問い合わせ	42 contact	1	-	-	変更
5	公開	採用情報	43 recruit	3	-	-	変更
6	公開	物件情報	44 realstate	3	-	-	変更
7	公開	トップページ	45 top	1	トップページ用コンテンツ	-	変更

個別カテゴリーに対する編集処理（公開/非公開や名称などの変更）

個別のカテゴリーに対しての編集は、各カテゴリーの右端にある「変更」ボタンからできます。公開、非公開のステータス変更や、カテゴリー名やコードネーム、親カテゴリーなど、カテゴリーに関する各種情報を個別のカテゴリーに対して編集できます。

複数のカテゴリーを一括して処理

このカテゴリーの一覧では、複数のカテゴリーに対して、一括して以下の処理ができます。

- 表示順の変更
- カテゴリーの親子関係の変更
- ステータス（公開/非公開）の変更



これらの処理を行いたいエントリーの一覧表示の左側のチェックをして、一覧左上の選択肢から処理を選ぶことで、チェック済みのカテゴリに対して一括で処理が行われます。

カテゴリの削除

カテゴリの削除は、カテゴリの一覧からではなく、カテゴリの詳細から行います。

カテゴリの一覧で、削除したいカテゴリの「編集」から詳細ページへ移動します。

詳細ページ上部の「削除」ボタンから個別のカテゴリが削除できます。



カテゴリの管理についての注意

カテゴリのコードネーム変更や追加・編集などはサイトの表示に大きく影響する場合があります。カテゴリの管理にあたっては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

タグの管理

一覧からのタグ管理

ここでは管理者としてエントリーの一覧からエントリーの管理をする方法をお知らせします。管理画面左側のメニュー[タグ]から、タグの一覧画面へ移動します。

タグの管理（名称の変更、タグの削除）

タグ一覧では、そのブログに登録されているタグが一覧で表示されています。

このページでは一覧のみとなり、名称の変更やタグの削除はタグ名をクリックしたタグの詳細ページより行います。

タグの追加

タグの追加はエントリーの編集画面から行います。この管理ページからタグそのものを追加することはできません。

✿ ブログの管理

a-blog cmsのブログ構造

a-blog cmsでは、**ブログ**という単位でコンテンツを管理しています。管理画面左側のメニュー**[ブログ]**から、現在のブログの情報を確認できます。

ブログ管理の画面では、現在のブログのステータス（公開、非公開）や名前、ドメイン、コードネームなどが確認できます。

また、現在のブログに子ブログ（関連する下位ブログ）がある場合には子ブログがリストとして表示されます。

The screenshot shows the 'Blog Management' interface. At the top, there is a '保存' (Save) button and two links: '★ ショートカットに追加' and '子ブログを作成'. Below this are three tabs: '基本設定' (Basic Settings), 'カスタム設定' (Custom Settings), and 'エクスポート・インポート' (Export/Import). The '基本設定' tab is active, displaying the following fields:

- ID: 1
- ステータス: 公開 (dropdown menu)
- 名前: a-blog cms (日本語可)
- ドメイン: localhost (英数字)
- コードネーム: (英数字)
- インデキシング: リストに出す
- テーマカラー: #FF0000 (色を選択)
- サイトロゴ: 選択されていません

ブログ情報の編集

ブログの管理画面では、a-blog cms標準の**基本情報**と、ブログのカスタムフィールドにあたる**カスタム情報**があります。

このうち、基本情報についてはブログ名やドメイン、コードネーム（URLとして使用される文字列）となりますので、運用中に変更することは基本的にありません。

使用するテーマやカスタマイズによって、カスタム情報には変更が必要な項目が追加される可能性があります。

The screenshot shows the 'Blog Management' interface with the 'カスタム設定' (Custom Settings) tab selected. A red box highlights the 'カスタム設定' tab. Below the tabs, the 'サイト設定 基本' (Site Settings Basic) section is visible, showing a 'サイトロゴ' (Site Logo) field with a red circular logo and a '削除' (Delete) button. There is also a 'ファイル' (File) button.

子ブログの管理

ブログ管理ページ下部の子ブログリストでは、エントリーやカテゴリと同様に現在のブログの情報を確認できます。

- 表示順の変更
- ステータス（公開/非公開）の変更

- ブログの親子関係の変更
- コンフィグの複製

ブログの管理についての注意

ブログの編集や子ブログの追加・編集はサイトの表示に大きく影響する場合があります。

ブログ全体の編集や子ブログの作成にあたっては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

✿ ユーザーの管理

ユーザーの作成

a-blog cmsでは、基本的に管理者がユーザーを作成します。設定で外部からメールアドレスを登録して発行する方法もありますが、ここでは管理ページからユーザーを作成について解説します。

ユーザーの作成は、ユーザー管理画面右上の「ユーザー作成」ボタンから行います。

ユーザー作成画面には入力欄が複数ありますが、特徴的なものについて以下に説明します。

- **アイコン画像**

a-blog cmsの管理画面内でユーザーの識別のために使用されるアイコンです。アップロードした画像は64ピクセル四方になります。

- **権限**

a-blog cmsでできることによって読者、投稿者、編集者、管理者の4段階の権限があります。権限についての詳細は後述します。

- **どこでもログイン**

a-blog cmsでは、標準機能ではユーザーが所属しているブログでしかログインができません。このチェックをすることで、所属しているブログ以下の子ブログでもログインができるようになります。

ユーザーの作成についての制限

a-blog cmsでは、ライセンスによって作成できるユーザー数に制限があります。

ユーザー数の制限は、投稿者、編集者、管理者に適用され、**読者ユーザーはユーザー数制限に含まれません。**

許可されているユーザー数を越えると、読者以外の新規のユーザーが作成できなくなります。

ライセンスごとのユーザー数は、オプションとしてユーザー数の追加をご用意しています。

ユーザーの権限について

a-blog cmsのユーザーには4種類の権限があります。

利用の仕方に合わせて選択してください。

管理者、編集者、投稿者はユーザー数の制限に含まれますが、**読者ユーザーはユーザー数に含まれません。**

管理者	サイトの管理者として、すべての設定ができます。
編集者	新規エントリー作成・編集／投稿管理（エントリー・カテゴリー・タグ・コメント・トラックバック）／サイト管理（ユーザーのプロフィールのみ）／Ping送信ができます。
投稿者	新規エントリー作成・自分が作成したエントリーの編集／投稿管理（エントリー）／サイト管理（ユーザーのプロフィールのみ）／Ping送信ができます。 ※ 承認機能ON時は、他の人が作成したエントリーも編集・承認依頼ができます。（直接変更を公開することはできません）
読者	所属するブログへのログインと、自身のプロフィール変更のみができます。

所属ブログとユーザーの権限について

a-blog cmsではブログごとにユーザーを作成します。ユーザーの権限として、**自身が所属するブログまたは自身が所属するブログの下位ブログ（子ブログ）ではエントリー作成などの管理行為ができますが、それ以外のブログではログインができず、管理をおこなうことはできません。**

ログインパスワードを変更・再設定する

読者を含むa-blog cmsのユーザーは、自分自身でログインパスワードを変更できます。ログイン後、ユーザー管理ページから自身のアカウントから「変更」か、ログイン時のサイト上に表示されている管理ボックス（管理用ボタン等が表示されているスペース）内の「プロフィール」リンクから変更できます。

❀ フォームの管理

フォームIDについて

a-blog cmsのフォームは、フォームごとに**フォームID**というもので区別されています。このフォームIDによって、メールの宛先や送られるメールのテンプレートなどが個別に設定されています。

フォームIDは、サイトで使用するテンプレートファイル側への記述が必要になります。フォームIDの作成やテンプレートファイルへの記述方法につきましては、カスタマイズ担当者にお問い合わせください。

ここでは、運用中のフォームでの情報変更について解説します。

フォームIDの一覧でできること

管理画面左側のメニュー[フォーム]から、フォームIDの一覧画面へ移動します。この一覧では各フォームIDについて、情報を確認・編集できる「**変更**」と、そのフォームIDへ投稿されたデータの確認ができる「**投稿データ**」の2つのボタンがあります。

フォームID	フォーム名	最新の投稿	投稿数	グローバル	アクション
contactForm	お問い合わせフォーム	1000-01-01 00:00:00	0	-	変更 投稿データ
recruitForm	採用フォーム	1000-01-01 00:00:00	0	-	変更 投稿データ

フォームごとの宛先とテンプレートの指定

フォームIDのリスト右側の「変更」ボタンから各種情報の変更画面に移動します。この画面では一般メール設定（フォームの入力者に送られるメール）と、管理者宛メール設定ののそれぞれを設定できます。

- メールタイトルにあたるテンプレートファイル
- メール本文にあたるテンプレートファイル
- メール宛先
- メール差出人
- メールCc（カーボンコピー）
- メールBcc（ブラインドカーボンコピー）
- メール返信先

- 文字コード
- フォームによるファイルの添付の可否

各項目の詳細につきましては、項目部分の「？」アイコンから表示される解説をご覧ください。

投稿されたデータの確認

フォームIDのリスト右側の「投稿データ」ボタンから投稿データの一覧に移動します。

この画面ではこのフォームIDに送られたメールの内容がリストとして表示されています。

宛先部分はお名前とメールアドレスが表示され、クリックすることでメーラーが起動します。

件名／本文部分の「本文を表示」をクリックすると、フォームの入力者へ送られたメールの本文が表示されます。

投稿数	グローバル	アクション
0	-	変更 投稿データ
0	-	変更 投稿データ

投稿されたデータの削除

登録データの一覧画面では、「XX件の投稿データを削除」のボタンから全ての投稿データが削除できます。データの一部を削除することはできません。また、ここで削除したデータは復元することができませんのでご注意ください。

投稿されたデータのダウンロード

登録データの一覧画面では、「XX件の投稿データをCSV形式で（文字コード）ダウンロード」のボタンから全ての投稿データがCSVファイルとしてダウンロードできます。任意の文字コードを選択してご利用ください。

✿ スケジュールの管理

スケジュールセットとは

ここではスケジュールモジュールで使用するデータ（スケジュールセット）の管理方法について解説します。

スケジュールセットとは、スケジュールモジュールで使用するデータとラベルの情報です。

スケジュールセットは、サイトで使用するテンプレートファイル側への記述が必要になります。スケジュールセットの作成やテンプレートファイルへの記述方法につきましては、カスタマイズ担当者にお問い合わせください。

スケジュールセットの確認や修正を行う場合は、管理画面左側のメニュー[スケジュール]から、スケジュールセットの一覧画面へ移動します。

登録データの確認と編集

スケジュールセットの一覧画面で登録データの「表示」ボタンで、そのスケジュールセットに登録されている情報が表示されます。最初に当月の情報が表示されますので、必要に応じて確認・編集したい年月を編集できます。

必要な情報を追加・編集したら「保存」ボタンでスケジュールセットの一覧へ戻ります。

スケジュール管理

一覧 ★ ショートカットを追加

◀ 前月(2018-03-01) 2018 年 4 月 を編集する 次月(2018-05-01) ▶ 保存

2018年 4月

1(日)	<input type="text"/>	設定しない ▼
2(月)	<input type="text"/>	設定しない ▼
3(火)	<input type="text"/>	設定しない ▼
4(水)	<input type="text"/>	設定しない ▼
5(木)	<input type="text"/>	設定しない ▼
6(金)	<input type="text"/>	設定しない ▼

ラベルの設定

スケジュールセットでは、登録データにラベルをつけることができます。ラベルを付けることによって、スケジュールでデータを表示するカレンダーにラベルと一緒に表示したり、ラベルと対になるclass名を使ってcssでの装飾ができます。

スケジュールセットの一覧画面でラベルの「設定」ボタンで、そのスケジュールセットに登録されているラベル情報が表示されます。ラベルと、必要に応じてクラスを設定し、「保存」ボタンでスケジュールセットの一覧へ戻ります。

スケジュール管理

一覧 **保存** ★ ショートカットに追加

表示順	ラベル名 (必須)	クラス (省略可)
≡ 1 ▼	臨時休業	closed
≡ 2 ▼	ナイター講習	night
≡ 3 ▼		

❀ バックアップと復元

バックアップと復元について

a-blog cmsでは、標準機能としてa-blog cms全体のバックアップと復元ができます。管理画面左側のメニュー[バックアップ]から、バックアップと復元を行います。

a-blog cmsのバックアップに必要なデータ

a-blog cmsのバックアップに必要なデータは大きく3つあります。

- ユーザー、ブログ、エントリーなどの情報となる「データベース」
- エントリー等に添付する画像などのファイル「アーカイブ」
- サイトを表示するためのテンプレートファイル「テーマ」

バックアップと復元にはこれらのファイルが必要になります。

エクスポート・インポート時の注意事項

バックアップデータのファイル形式はzip形式のみとなります。zip形式のままインポートしますので、**展開（解凍）しないでください。**

エクスポート処理はデータ数が多い場合には負荷が高くなるため、作業時間・タイミングに注意し、慎重に行ってください。

データベースをバックアップする

1. 管理画面左側のメニュー[バックアップ]のリンクをクリックすると、[バックアップ管理]の画面が表示されます。
2. 「バックアップ」タブのデータベースのバックアップにある「バックアップ」ボタンを押す。
3. zip形式でダウンロードされます。
※ダウンロードには時間がかかる場合があります。

もし失敗するようであれば、a-blog cms を設置しているサーバーの「archives」ディレクトリーの



3. 管理画面左側のメニュー**[バックアップ]** のリンクをクリックすると、[バックアップ管理]の画面が表示されます。
4. リストアに関する機能は「リストア」タブにあります。元のデータベースについては「元のテーブルをリネームして残しておく」を選択することにより元のデータベースを名前を変えて残します。またバージョンチェックでは「バックアップファイルと現在のシステムをバージョン照合する」を選択することでバージョンチェックを行います。エクスポート元とインポート先が同じバージョンでないとインポートできなくなります。
5. リストアするデータとなるバックアップファイルを選択します。ここで選択できるファイルは手順1. で backup_databaseディレクトリ、 backup_archivesディレクトリにアップロードしたファイルです。
6. それぞれの「リストア」ボタンを押すことによりリストアが実行されます。

インポート作業では、データを失う危険性があります。慎重に作業してください。

✿ アクセス制限について

ブログ単位のアクセス制限

ここではブログ単位でアクセスを制限する方法を解説します。

管理画面左側のメニュー[**ブログ**]から、ブログの管理画面へ移動します。

この画面の**ステータス**から公開状態を変更します。

ステータスには3つの選択肢があります。

- 公開：一般に公開されています
- 非公開：一般には 403 Forbidden となり表示されません（該当ブログ以上のユーザーがログインしている場合には表示されます）
- シークレット：非ログイン状態で表示すると、ログイン画面が表示されます

一般に公開したくない内容であれば「**非公開**」で、読者登録しているユーザーなど、一部の方に公開するのであれば「**シークレット**」としておくのがよいでしょう。



3. 応用編

❀ さまざまなユニット

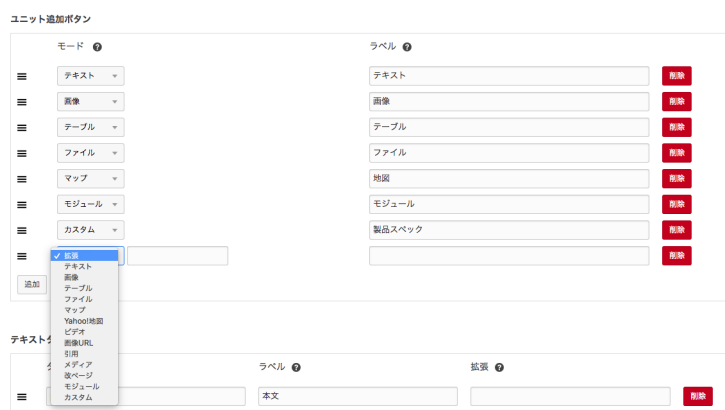
a-blog cms では、エントリーを登録・変更する時にユニットという単位でコンテンツを追加していきます。

インストール直後の状態ではテキスト、画像、ファイル、マップの4つのユニットがあります。この4つのユニットで基本的なコンテンツは構成できますが、コンテンツ作成に便利な様々なユニットが用意されています。

ユニットの追加

ユニットの追加は**管理ページ>コンフィグ>編集設定** から設定できます。

ここでは、ユニットとして追加できる各ボタンの機能について解説します。

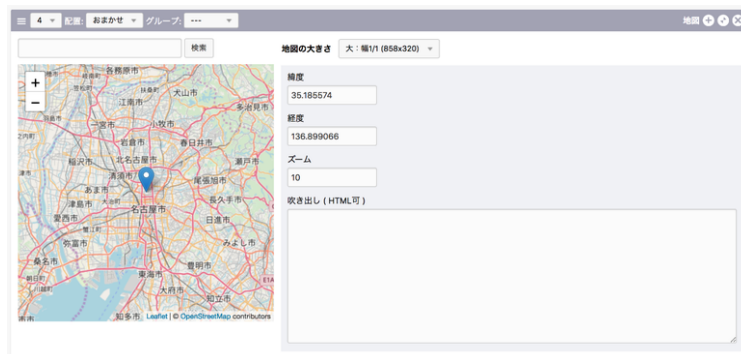


標準マップ

OpenStreetMapを追加するためのユニットになります。

住所または緯度と経度の情報から目的地へピンを刺すことができます。

Google マップと異なり、APIの登録は別途必要なく使用できます。



Google マップ

a-blog cms では Google マップを記事内に追加することが可能です。

Google マップを使うためには、事前に Google Maps API Key を取得し、設定する必要があります。この機能の利用は管理ページ > コンフィグ > プロパティ設定から設定できます。



ストリートビュー

Google マップユニットでは、ストリートビューの表示に対応しています。通常の Google マップの画面で住所を指定した後、ストリートビューの項目にチェックしてください。



ビデオ



a-blog cmsでは、動画を表示するための機能としてYouTube をはじめとした動画サイトの情報を利用できます。この場合は専用のユニット「ビデオ」を使用します。

Video IDの入力

表示する動画を指定するために、Video IDを入力します。このIDは、カスタマイズしていない状態の a-blog cmsであれば、YouTubeサイトのURLの末尾部分となります。以下の例の場合、IDは「XX12345」となります。

<http://www.youtube.com/watch?v=XX12345>

なお、YouTube以外の動画サイトに対応するためには、テンプレートのカスタマイズが必要です。サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

画像URL

Flickrなどの外部サービスに登録した画像を表示する

a-blog cmsにFlickrなどの外部サービスに登録した画像を表示したいという要望があります。このような場合には、ユニットの「画像URL」を使用します。このユニットは、表示したい画像のURLを指定することで、a-blog cmsに画像をアップロードせず、指定されたサーバー内の画像を表示します。

標準画像
例) https://

拡大画像
例) https://

画像の大きさ
そのまま

> 詳細

キャプション

リンク

代替テキスト

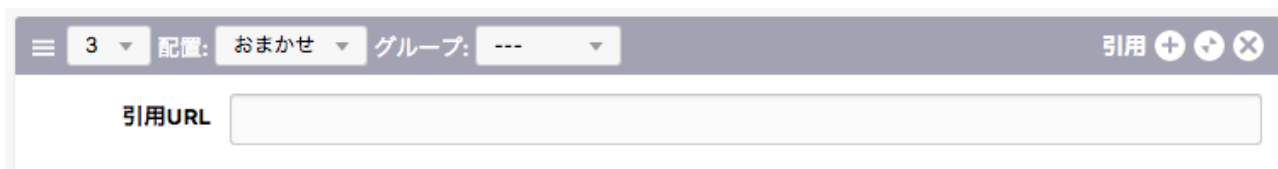
- 標準画像：「画像の大きさ」で指定した場合に表示する画像のURL
- 拡大画像：画像をクリックした場合に表示する拡大画像のURL
- キャプション：画像の下に表示される説明文です。

- リンク：画像をクリックした場合のリンク先を設定できます。
- 代替テキスト：画像が表示できない場合に代替テキストとして表示される文章です。
- 画像の大きさ： Site テーマでは大中小の3サイズが設定されています。また、選択した画像のサイズを変更しない場合は [そのまま] を選択します。
- メディアを挿入（メディア管理が有効の場合のみ表示）：メディア管理で登録しておいたファイルを添付できます。

引用

引用ユニットは、テキストユニットの引用とは違い、外部のURLを入力する事で、そのURLの持つOGP情報を表示します。

入力欄



The screenshot shows a dark grey header bar with a hamburger menu icon, a dropdown menu set to '3', and labels for '配置: おまかせ', 'グループ: ---', and '引用' with three icons (plus, left arrow, right arrow, and close). Below the header is a white input field labeled '引用URL'.

表示例

メディア



a-blog cms では、エントリー内でよく使用する画像などのファイルをシステム側に保管しておくことで、何度も別のエントリーに使い回すことができるメディア管理機能があります。

メディアユニットは、別途登録するファイルを表示するユニットになります。

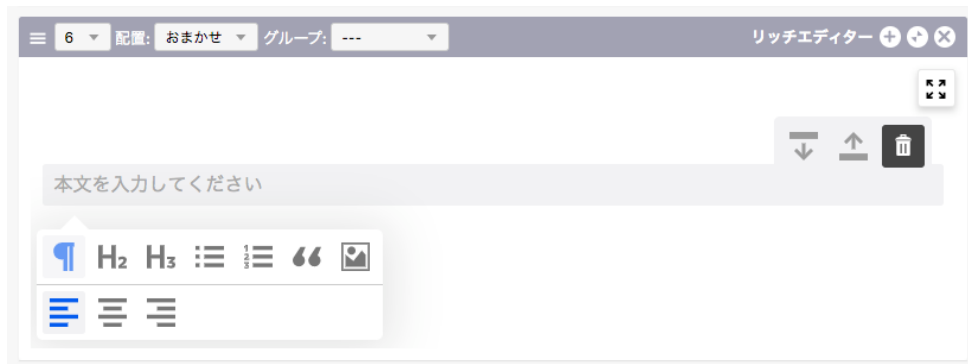
設定方法、ファイルの登録については別項[メディア管理](#)で詳しく解説しています。

カスタム

カスタムユニットは、ユニットをカスタマイズし、カスタムフィールドをユニットで取り扱えるようになるものです。

このユニットを使用するためには、テンプレートのカスタマイズが必要です。サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。リッチエディター

リッチエディターはユニット内で使用できるテキストエディタの1つです。



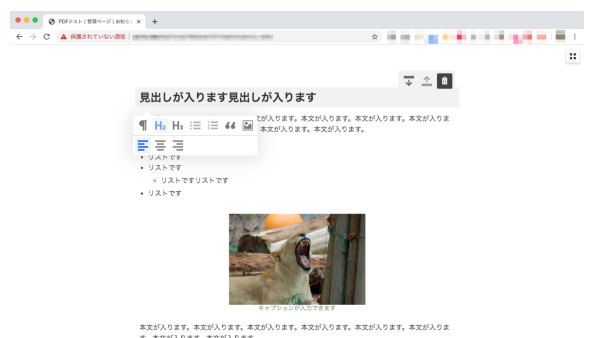
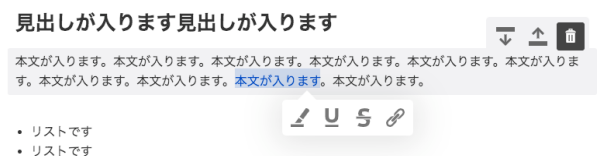
テキストユニットとは違い、ブロック内で複数の種類のテキストを入力できたり、テキストブロックの移動や画像の挿入が可能です。

テキストの種類はカスタマイズで拡張できます。拡張は制作者による作業が必要です。制作者にご相談の上ご利用ください。

テキストをドラッグすれば、マーカー、下線、打ち消し線、リンク挿入が可能です。

これらのインラインスタイルの種類はカスタマイズで拡張できます。拡張は制作者による作業が必要です。制作者にご相談の上ご利用ください。

右上の拡大ボタンをクリックすると、ウィンドウサイズでテキストを編集できます。



❁ メールマガジン機能

a-blog cmsのメールマガジン機能とは

a-blog cmsでは、メールマガジン機能として、登録済みのエントリーをa-blog cmsのユーザーにメールとして送信する機能があります。

ブログのエントリーをHTMLメールのテンプレートを使って送ることで「自由なレイアウトを実現したり、効果的な画像を差し込める」「本文がブログのエントリーなので、メールマガジンのバックナンバー構築が容易」といったメリットが考えられます。

この機能の利用は[管理ページ](#)>[コンフィグ](#)>[機能設定](#) から設定できます。



配信先について

この機能は、a-blog cmsのユーザーに対してメールを送信するものです。管理ページ>ユーザー で個別のユーザーの情報を登録・更新できますが、このユーザー情報のメールアドレス欄に「メールマガジンを受け取る」のチェックボックスがあります。ここでチェックのあるユーザーに対してメールが配信されます。



初期値はチェックがされている状態ですが、機能設定のメールマガジン機能にチェックがされていない場合は動作しません。

メールアドレスはPCと携帯の2つを登録できますが、PCとして登録したメールアドレスにはHTML形式のメールを、携帯として登録したメールアドレスにはテキスト形式のメールを送信します。

メールマガジンのメールの設定

送信先の他に、メールマガジンの送信元や件名、本文のテンプレート等を設定します。

これらの内容は[管理ページ](#)>[コンフィグ](#)>[メール設定](#) から設定できます。

メール設定ページの「メールマガジン」の各欄の内容は以下の通りです。

- From
送信されるメールの差出人を指定します。
- To
送信されるメールの宛先を指定します。実際のユーザーへの宛先はbccとして送られますので、通常は送信者のメールアドレスと同じものを入力するとよいでしょう。
- 件名テンプレート
送信されるメールの件名になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。
- 本文テンプレート（プレーンテキスト）
送信されるメールのテキスト形式の本文になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。
- 本文テンプレート（HTML）
送信されるメールのHTML形式の本文になる文章の雛形が記述されているテンプレートファイルの場所を指定します。
- 一斉同報件数
一通のメールでBccに指定する登録ユーザーのメールアドレスの最大数。この数字を大きくし過ぎるとプロバイダによってはスパムと判断されてしまう場合があります。

テンプレートの準備

メールマガジン用の標準テンプレートは `/themes/system/mail/entry/` に格納されています。

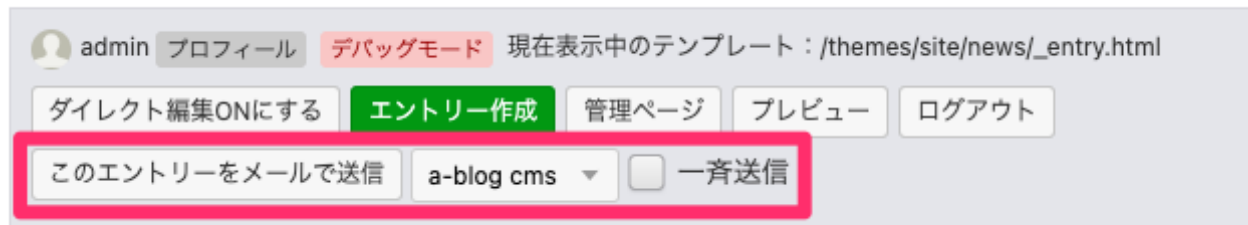
これらのテンプレートはあくまでベースとなるものですので、ご利用の際にはカスタマイズの必要があります。

送信内容と、対象となるメーラーに合わせて適宜変更してご利用ください。各テンプレート内ではa-blog cmsの変数を使用できます。

- subject.txt
メールマガジンの件名のテンプレートです。
- body.txt
テキスト形式で送信する場合の本文のテンプレートです。
- body.html
HTML形式で送信する場合の本文のテンプレートです。

配信までの流れ

メールマガジン機能はエントリーを送信するため、まずエントリーを作成する必要があります。ログインした状態で作成したエントリーを詳細表示すると、画面上部の管理ボタン群にメールマガジン関連のボタンが表示されます。



テスト送信

上記の状態では「一斉送信」にチェックがされていません。この状態で「このエントリーをメールで送信」を押すと、テスト送信としてTo宛にメールマガジンの内容がテスト送信されます。

一般のユーザー（Bcc宛）には送信されません。

本送信

「一斉送信」にチェックをした状態で「このエントリーをメールで送信」を押すと、選択したブログのユーザーで、**メールマガジンを受け取るにチェックをしているユーザー宛**にメールマガジンの内容が送信されます。

メディア管理

メディア管理とは

a-blog cms では、エントリー内でよく使用する画像などのファイルをシステム側に保管しておくことで、何度も別のエントリーに使い回すことができるメディア管理機能があります。

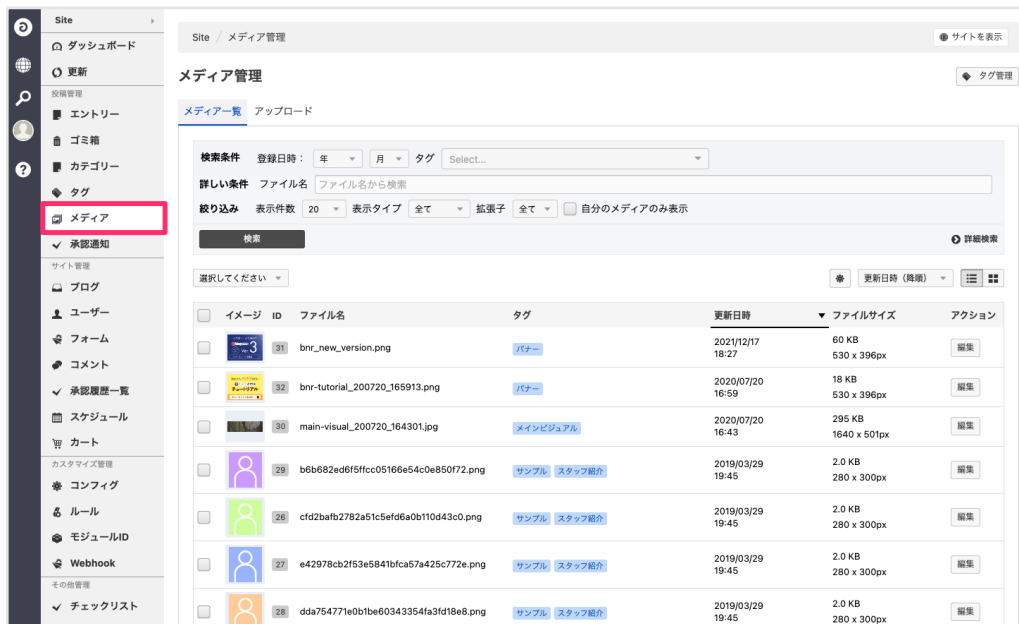
この機能の利用は管理ページ>コンフィグ>機能設定 から設定できます。



メディアファイルのアップロード

メディアファイルのアップロードは、管理ページ>メディア から行います。

このページに移動すると、メディアファイルが既にアップロードされている場合は、アップロード済みファイルの一覧が表示されます。



「アップロード」タブをクリックし、ここでお手元のPC内の画像ファイルを選択してアップロードします。



その際、メディアファイルを管理するためのタグが設定できます。タグはメディアファイルの一覧や、エントリーへ添付する時に検索しやすくするためのものです。

メディアファイルがアップロードできない場合は、a-blog cms 設置サーバーの /a-blog cms の設置ディレクトリ/media/ に書き込み権限があるかを確認してください。不明な場合はサーバー管理者におたずねください。

メディアファイルで扱えるファイル形式

メディアファイルで扱えるファイル形式は、画像ファイルとして .jpg、.gif、.png、.svg と、**管理ページ>コンフィグ>編集設定>アップロード許可ファイル拡張子** のドキュメント欄に指定したファイルとなります。



エントリー内でメディアファイルを使用する準備

登録しておいたメディアファイルをエントリーの登録・編集で使用するにはテキスト、画像などと同様に**ユニットのボタン「メディア」**を使います。Siteテーマではインストール時にすでに利用できるようになっていますが、もしご自身のサイトに設定がない場合は必要があれば追加してください。

このユニットボタンの追加は**管理ページ>コンフィグ>編集設定** から設定できます。

編集設定ページ内の「ユニット追加ボタン」欄の追加ボタンから、新しいユニットボタンを追加して「メディア」を選択します。ラベルはわかりやすいもので構いません。

ユニット追加ボタン

モード	ラベル	アイコン	クラス名	
テキスト	テキスト			削除
メディア	画像・ファイル			削除
テーブル	テーブル			削除
標準マップ	地図			削除
モジュール	モジュール			削除
追加				

ユニット追加ボタン

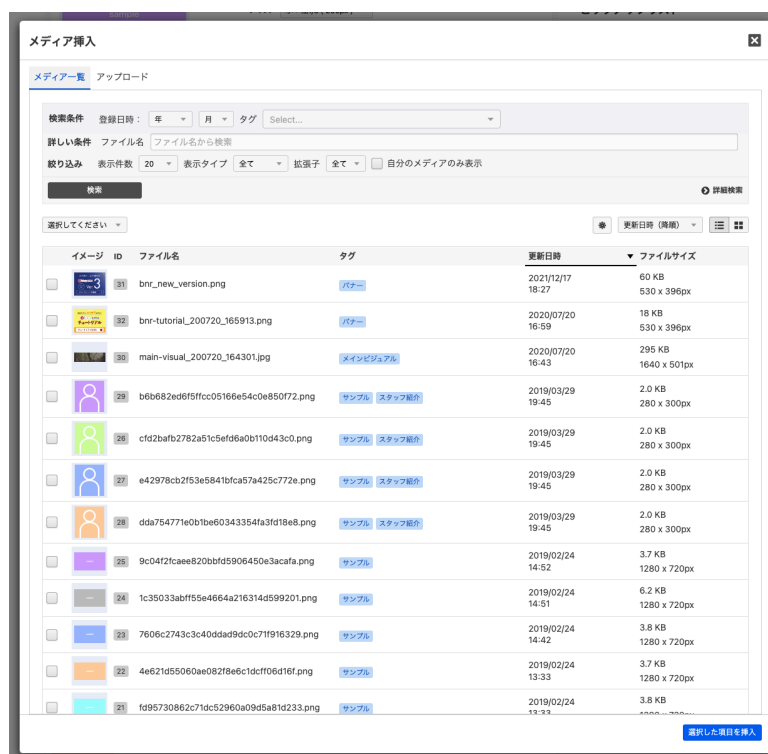
モード

- テキスト
- メディア
- テーブル
- 標準マップ
- モジュール
- 拡張
- テキスト
- 画像
- テーブル
- ファイル
- 標準マップ
- Googleマップ
- ビデオ
- 画像URL
- 利用
- メディア**
- フッターエリア
- 改ページ
- モジュール
- カスタム

エントリー内でメディアファイルを使用する

エントリーの登録・編集画面では、登録しておいたメディアファイルを登録した任意のラベル名のボタンから呼び出して使うことができます（Siteテーマのインストール時にはデフォルトでは「画像・ファイル」というラベルで登録されています）。

メディアユニットの入力画面内の「メディアから選択」ボタンをクリックすると、管理画面で登録しておいたメディアの一覧が表示されます。



管理画面で登録しておいたメディアの一覧

メディア一覧では、エントリーで使用したいファイルを選択し、挿入ボタンを押すとエントリー作成画面に反映されます。また、メディア一覧の「アップロード」タブでは、メディアファイルの追加もできます。

✿ バージョン管理

a-blog cms のバージョン管理機能とは

バージョン管理機能とは、a-blog cms上のエントリーの変更をする際、**上書きとは別にその時その時の内容を保存して、必要な時に保存した内容に切り替えを行える仕組みになります。**

エントリーの過去の変更履歴の保存や、同一urlで未来に表示したい内容を先行して作成しておく時に便利に使えます。

この機能の利用は**管理ページ>コンフィグ>機能設定** から設定できます。



エントリーの作成

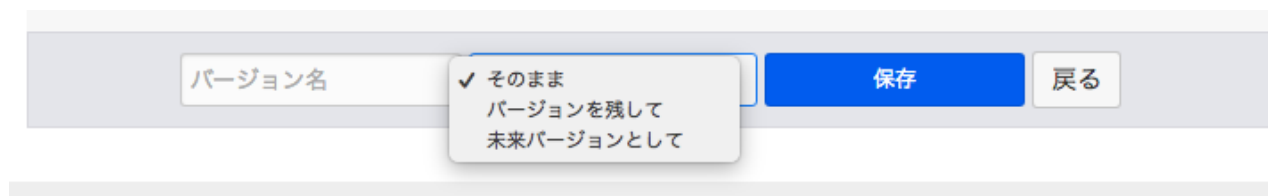
エントリーを新規に作成する場合には、まだバージョン管理を意識することはありません。また、バージョン管理が必要でないエントリーの場合にも特に必要な動作はありません。

エントリーの新規作成後、修正を行う際に初めてバージョン管理特有の表示が現れます。

なお、エントリーの新規作成を行った場合は、**作業領域**というバージョンで保存されます。

エントリーの保存方法によって変わるバージョン管理

作成したエントリーを修正した場合、ページ下部に、保存のための以下のフォームが表示されます。



そのまま

エントリーに修正を加える際、バージョン管理を行わないのであれば「そのまま」「保存」とすることで、バージョンを作成せずにエントリーを保存します（修正内容が反映されます）。

ただし、作業領域バージョンには上書きされます。



バージョンを残して

バージョン名の入力欄に任意でわかりやすい名前を入力し「バージョンを残して」「保存」とすることで、今回の修正を新たにバージョンとして作成します。

そして、今回の修正で作成されたバージョンが公開されます。

未来バージョンとして

バージョン名の入力欄に任意でわかりやすい名前を入力し「未来バージョンとして」「保存」とすることで、今回の修正を新たにバージョンとして作成します。

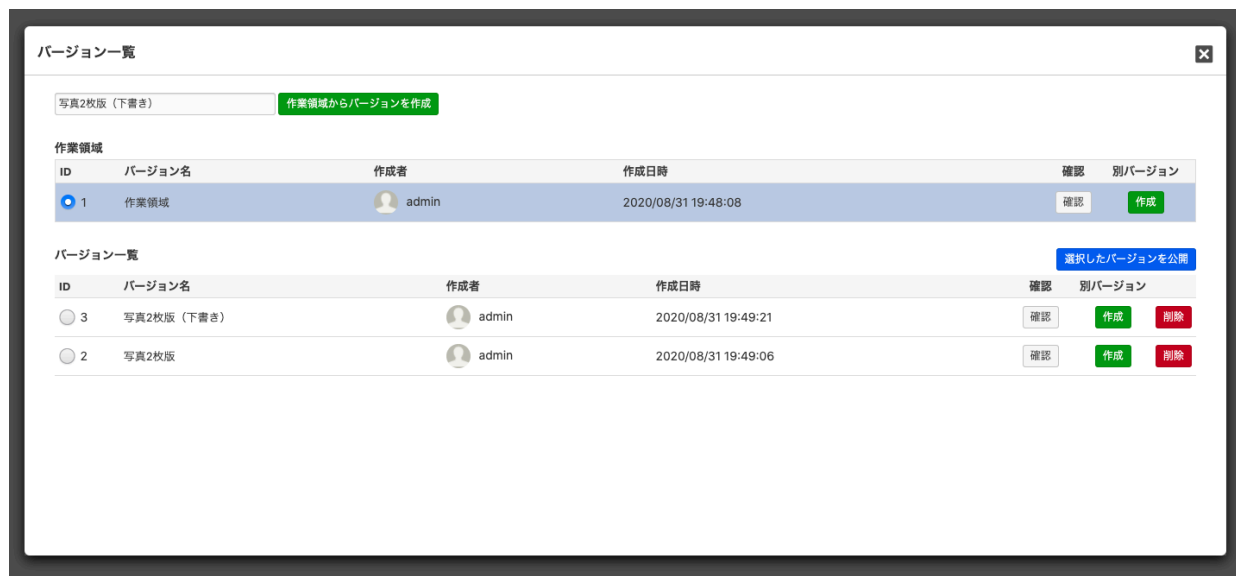
ただし「バージョンを残して」とは違い、作成されたバージョンは公開されません。公開する場合は後述するバージョン管理パネルから公開します。

バージョンの確認と管理

1つ以上のバージョンを持つエントリーを個別表示（****.html で表示）すると、エントリーの上部にバージョンに関する情報が表示されます。

ここでは、バージョン管理画面を表示するための「バージョン管理」ボタン、現在のバージョンを表すID（数字）と、このエントリーに作られているバージョン数が表示されています。

バージョン管理パネルの役割



「バージョン管理」ボタンをクリックすると、画面内にバージョン管理パネルが表示されます。ここで、該当エントリーのバージョンの状態の確認や、バージョンの確認、バージョンを切り替えての公開ができます。

バージョンの確認と公開

バージョン管理パネル内の各バージョンの「確認」ボタンをクリックすると、そのバージョンの内容を別ウィンドウ（タブ）で表示します。ここでバージョンの内容を確認するとともに、公開（切り替え）もできます。

バージョンの公開（切り替え）は、確認画面右上のボタンから行います。



バージョンの変更

バージョン管理パネル内の各バージョンの「変更」ボタンをクリックすると、そのバージョンの編集画面になります。ここで編集を行い「そのまま」保存すると、編集結果は作業領域バージョンに上書きされ「バージョンを残して」「未来バージョンとして」保存することで、新たなバージョンを作成できます。

バージョンの削除

バージョン管理パネル内の各バージョンの「削除」ボタンをクリックすると、そのバージョンは削除されます。

作業領域バージョンと現在公開中のバージョンは削除

することはできません。「削除」ボタン自体が表示されません。

公開バージョンの変更

バージョン一覧の右上の「選択したバージョンを公開」は、バージョン右のラジオボタンと組み合わせて使用します。

「選択したバージョンを公開」ボタンをクリックすると、このエントリーでラジオボタンで選択したバージョンが公開されます。

作業領域からバージョンを作成

バージョン管理パネル左上の入力欄にバージョン名となるテキストを入力し「作業領域からバージョンを作成」ボタンをクリックすると、**現在の作業領域バージョンを独立した別バージョンとして作成**します。

✿ SNSログイン機能

SNSログインとは

a-blog cmsでは、Facebook、Twitterのユーザーアカウントを使用してログインするSNSログイン機能があります。

a-blog cmsでは、Facebook、Twitterの各サービス、a-blog cms のブログ、a-blog cmsのユーザーに必要な設定を行うことでこの機能が利用できます。

Facebook 側の設定

Facebookアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の**管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定**にあるFacebookアプリケーション欄の「Application ID」と「Appliction Secret」の2つの情報が必要になります。

この2つの情報は、独自のFacebookアプリを作成することで入手できます。

注意：Facebookアプリの作成には、Facebook開発者登録が必要です。開発者登録がされていない場合には <https://developers.facebook.com> より事前にご登録ください。

アプリの作成手順

この手順は2014年11月現在のものです。Facebook側の仕様変更がされる場合がありますのでご注意ください。

1. Facebook の Devdlopersアカウントを作成します。
上部ナビゲーション「スタート」から、アカウントを作成します。「Facebook for Developersアカウントを作成しよう」の下にある「次へ」から、アプリの登録画面へ移行します。
2. アプリ情報を入力します。アプリ名、メールアドレスを登録し「Next」ボタンをクリックします。次に自分に当てはまる役割についてのアンケートに答えます。
3. 「Add Your First Product」から、アプリダッシュボードに移動します。





- ダッシュボード左にあるサイドバーの「設定」→「ベーシック」にて **アプリID** と **app secret** を確認します。app Secret は非表示になっていますので、app Secret 欄右側の「表示」で表示して確認してください。

これで設定に必要な「App ID」と「App Secret」が取得できました。これらの情報のa-blog cmsへの設定は後述します。



Twitter 側の設定

Twitterアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の**管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定**にあるTwitter (SNSログイン用) 欄の「API Key」と「API Secret」の2つの情報が必要になります。

この2つの情報は、独自のTwitterアプリを作成することで入手できます。

アプリの作成手順

この手順は2018年4月現在のものです。Twitter側の仕様変更がされる場合がありますのでご注意ください。

1. Twitter のアプリケーション登録ページ(<https://apps.twitter.com>)から、申請を行う必要があります。この時点でログインしているアカウントが表示や投稿に関連づけられます。画面右側の「Create New App」から新しいアプリケーションの作成を行います。

2. Application Detail の各欄を入力します。
Name、**Description**にはわかりやすい名前と概要を入力し、**Website**には対象となるa-blog cmsのブログURLを入力してください。
Callback URLには以下の内容を入力してください。
- 対象となるa-blog cmsのブログURL/callback/signin/twitter.html**

画面下部の規約に同意して登録を完了してください。

3. アプリケーションの作成が完了すると、情報の確認や設定の変更ができます。以下の内容を変更してください。

Keys and Access Tokens

「Keys and Access Tokens」タブの「Access level」が、「Read and write」となっていることを確認してください。これが基本のアクセス形式となります。

Twitter Apps

You don't currently have any Twitter Apps.

Create New App

[About](#) [Terms](#) [Privacy](#) [Cookies](#)

© 2018 Twitter, Inc.

Create an application

Application Details

Name *

Your application name. This is used to attribute the source of a tweet and in user-facing authorization screens. 32 characters max.

Description *

Your application description, which will be shown in user-facing authorization screens. Between 10 and 200 characters max.

Website *

Your application's publicly accessible home page, where users can go to download, make use of, or find out more information about your application. This fully-qualified URL is used in the source attribution for tweets created by your application and will be shown in user-facing authorization screens. (If you don't have a URL, yes, just put a placeholder here but remember to change it later.)

Callback URL

Where should we return after successfully authenticating? OAuth 1.0a applications should explicitly specify their oauth_callback URL on the request token step, regardless of the value given here. To restrict your application from using callbacks, leave this field blank.

Developer Agreement

Yes, I have read and agree to the [Twitter Developer Agreement](#).

Create your Twitter application

2018-04 a-blogcms sample

[Details](#) [Settings](#) [Keys and Access Tokens](#) [Permissions](#)

Application Settings

Keep the "Consumer Secret" a secret. This key should never be human-readable in your application.

Consumer Key (API Key)

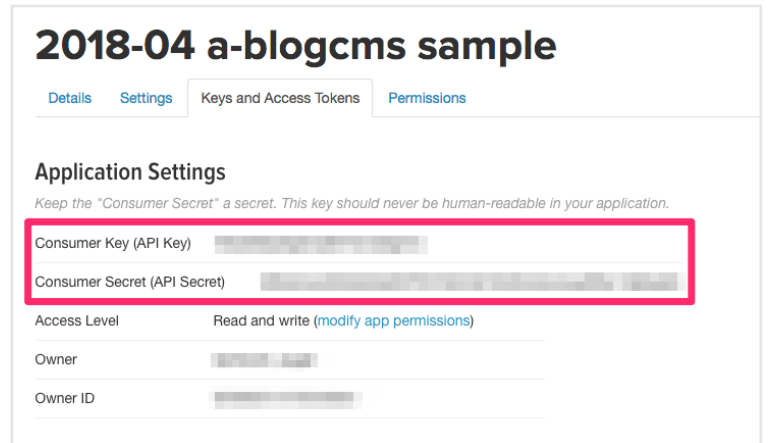
Consumer Secret (API Secret)

Access Level

Owner

Owner ID

a-blog cmsとの連携には、このタブで表示される「Consumer Key (API Key)」と「Consumer Secret (API Secret)」が必要になりますのでメモをしておいてください。



Google側の設定

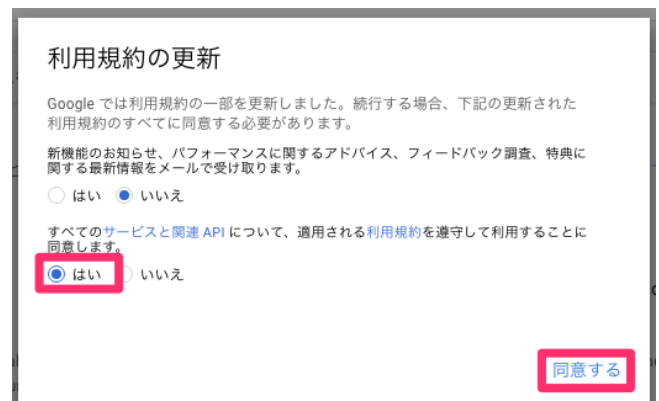
Googleアカウントを使ったSNSログインのための準備として、a-blog cms の管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定 にあるGoogle（ログイン）欄の「Client ID」と「Secret Key」の2つの情報が必要になります。

この2つの情報は、GoogleのOAuth クライアント IDを作成することで入手できます。

OAuth クライアント IDの作成手順

1. Google API Console(<https://console.developers.google.com/>)から、申請を行う必要があります。この時点でログインしているアカウントに関連づけられます。はじめに利用規約に同意する必要があります。次に、画面上にある「プロジェクトを作成」から新しいプロジェクトを作成を行います。

次に、画面上にある「プロジェクトを作成」から新しいプロジェクトを作成を行います。





Google API Consoleの画面



作成をクリックします



プロジェクト名を決めて、プロジェクトを作成します

2. 認証情報から認証情報作成を行います。左の「API APIとサービス」から「認証情報」を選択します。「認証情報を作成」から「OAuth クライアント ID」を選択します。



認証情報を作成します

3. クライアント ID の作成を行います。クライアント ID の作成画面からはじめに同意画面を設定します。「同意画面を設定」からOAuth 同意画面から**ユーザーに表示するサービス名**にサービス名を入力し保存をしてください。

アプリケーションの種類は**ウェブ アプリケーション**を選択し、わかりやすい名前（例：googleOAuthApi）を入力します。承認済みの JavaScript 生成元にGoogleアカウントでログインを行うサイトのURL（http://www.example.com）を入力します。ワイルドカード（http://*example.com）やパス（http://example.com/subdir）を含めることはできませんのでご注意ください。承認済みのリダイレクト URIには以下の内容を入力してください。**対象となるa-blog cmsのブログURL/callback/signin/google.html**

4. クライアント ID の作成が完了すると、OAuth クライアントの情報が表示されます。「OK」をクリックするとファイルをダウンロードしないと見れなくなりますので、メモしておいてください。



「OAuth クライアント ID」を選択します

LINE側の設定

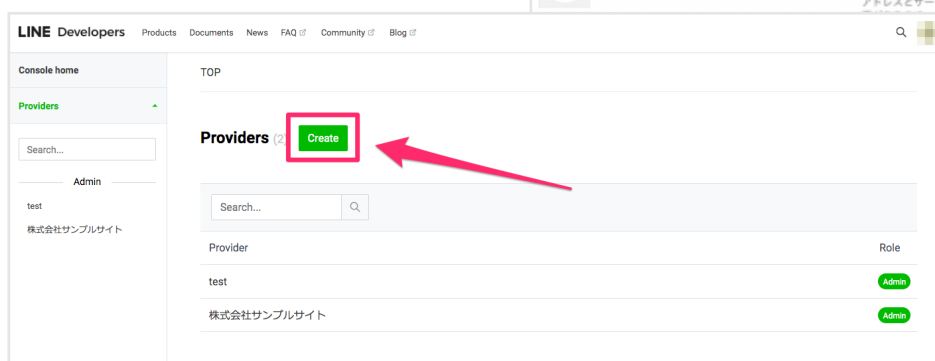
この記事では、LINEログインをa-blog cmsで行う方法をご紹介します。

コンソール <https://developers.line.biz/console/> にアクセスして、a-blog cmsの管理画面に登録する「Channel ID」と「Channel secret」を取得します。

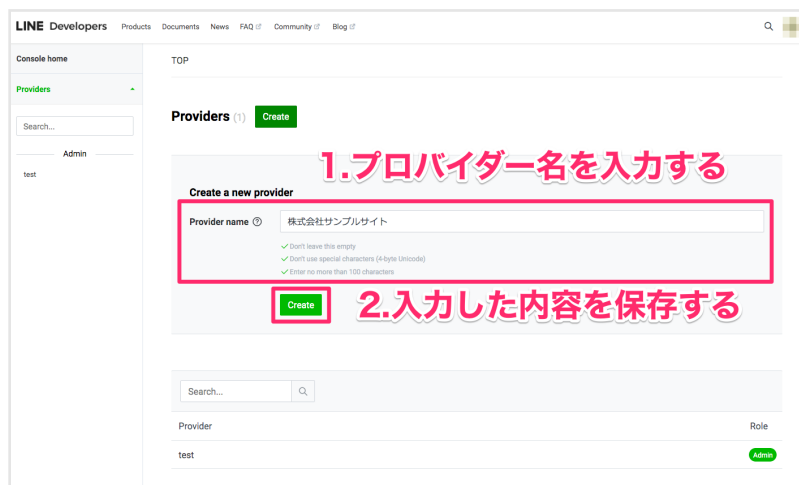
プロバイダを作成する



まずはプロバイダを作成します。「Create」ボタンをクリックします。

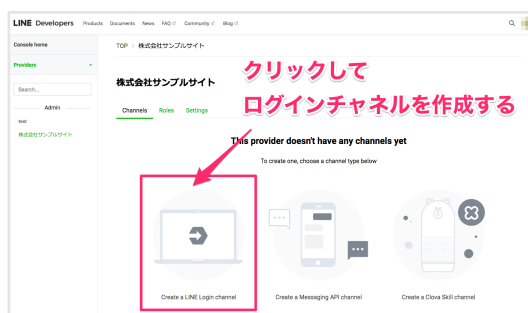


「Create」ボタンをクリックしたら、プロバイダー名を入力します。後から何の設定かわかるように、会社名や店の名前やサイト名をご記入ください。

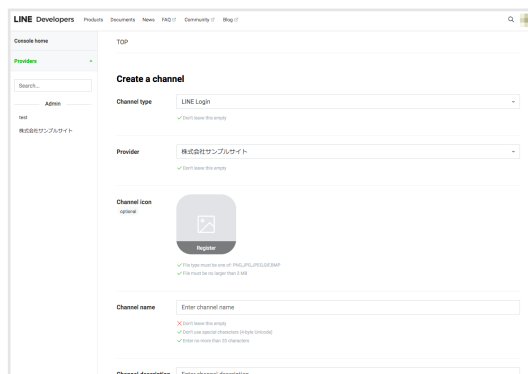


プロバイダーを作成したら、ログインチャンネルを作成します。

ログインチャンネルを作成する



以下のような画面に移動します。入力欄を記入しましょう。



Channel type	「LINE Login」を選択する（さきほど選択したチャンネルタイプが選択されている状態になります）
Provider	プロバイダ名を選択する（さきほど作ったプロバイダが選択されている状態になります）
Channel icon	任意のアイコンを登録する
Channel name	チャンネルの名前（※Channel name名に「LINE」という文字を含めるとうまく作成できない可能性があります）
Channel description	チャンネルの説明
App types	「Web app」を選択する
Email address	メールアドレスを登録
Privacy policy URL	プライバシーポリシーのURLがあれば登録する
Terms of use URL	利用規約のURLがあれば登録する

最後に、LINE Developers Agreement に同意し、チェックボックスをオンにしてチャンネルを作成します。

Channel IDとChannel secret を登録する

内容を保存したら、作成したチャンネルのページに自動で移動します。

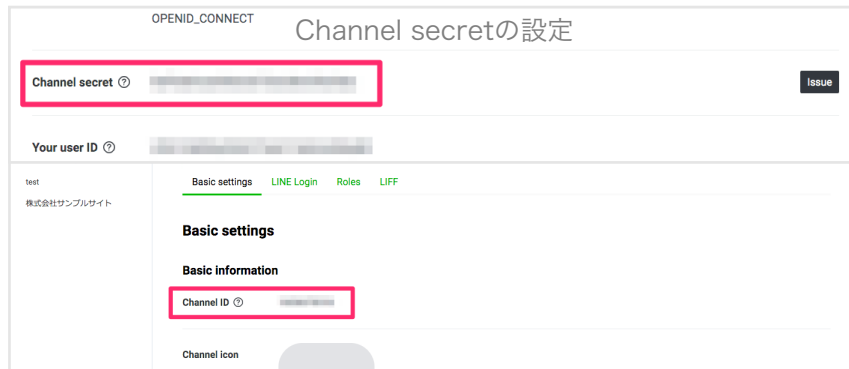
このページに記述されている「Channel ID」と「Channel secret」の項目をa-blog cmsの管理画面に設定します。LINEログインを有効にしたいサイトにログインし、管理画面>コンフィグ>プロパティ設定の順にページを移動し、「LINE（SNSログイン用）」の欄に記述してください。

a-blog cms の管理画面

The screenshot shows a configuration form for 'LINE (SNSログイン用)'. The 'Channel ID' and 'Channel Secret' fields are highlighted with a red box. The 'Callback URL' is also visible above and below the highlighted area.

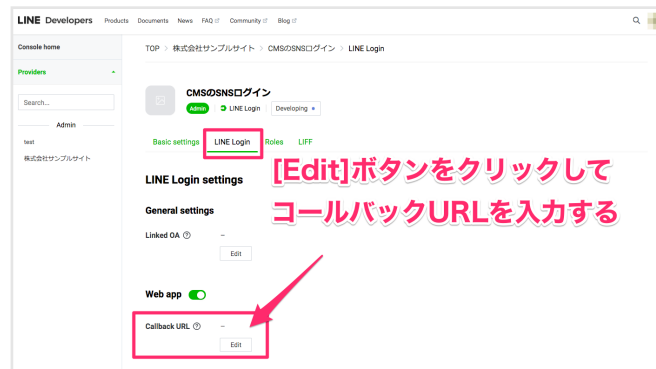
Channel IDとChannel secret をプロパティ設定に登録する

LINEのチャンネルページにある LINE ID とLINE secret



Callback URLを登録する

つぎは、a-blog cms の管理画面に記入されているCallback URLを確認し、LINEのチャンネルに登録します。またLINEのコンソールの画面に戻って「LINE Login」タブに移動します。



LINEログインを使用したいユーザーを認証する

管理画面>ユーザー>LINEログインをしたいユーザーの設定画面の順にページを移動し、LINEログインの項目にある「認証」ボタンをクリックします。



実際にLINEログインを使用する

サイトからログアウトし、ログインページに移動すると、専用のボタンが表示され、LINEログインが有効になっているのが確認できます。LINEログインボタンをクリックしてログインしてください。



a-blog cms 側の設定

SNSログインのためのa-blog cms側での設定は大きく3つあります。

1. 各サービスのアプリ情報を登録

Facebook、Twitter のアプリ情報は**管理ページ>コンフィグ>プロパティ設定** から設定できます。

プロパティ設定画面の「ウェブサービス」からTwitter（SNSログイン用）、Facebookアプリケーションの各情報を登録します。

今回TwitterについてはSNSログインのために設定を行いますので、Twitter（SNSログイン用）に登録します。なお、Twitterアプリケーションの欄はSNSログイン以外の用途で使いたい時のためのものとなります。

ウェブサービス

2. SNSログインのための設定

ブログ全体でのSNSログイン機能と対象についての設定は**管理ページ>コンフィグ>機能設定** から行います。

ログイン

ログイン

ログインクッキー有効時間 秒

現在のURLでログイン 現在のURLでログイン *チェックされている場合、管理ページへのリダイレクトは無効になります。

ログイン後ページの指定 *ログイン後に表示したい管理ページのacmsパスを指定できます。

ユーザー登録の外部申請 ユーザー登録の外部申請を受け付ける

外部申請時のアクティベーション メールアドレスの有効性とパスワード認証を行わない

外部申請「どこでもログイン」 購読者を「どこでもログイン」を有効で作成する

外部申請時の権限 でユーザーを登録する

ログイン中の投稿者 ログイン中の投稿者には、自分が投稿したエントリーのみ表示する

編集、管理ページ以外の表示 投稿者以上の権限であっても管理画面、編集画面以外は、購読者（閲覧者）と同じ条件で表示する

SNSログイン機能 SNSログインを利用可能にする

SNSログイン使用権限 でSNSログインを使用する。

2018-04 a-blogcms sampleにアカウントの利用を許可しますか？

連携アプリを認証

キャンセル



2018-04 a-blogcms sample

www.appleple.com/

2018-04 a-blogcms sample

このアプリケーションは次のことができます。

- タイムラインのツイートを見る。
- フォローしている人を見る

次のことはできません。

- 新しくフォローする
- プロフィールを更新する。
- ツイートする。
- ダイレクトメッセージを見る。
- 登録済みのメールアドレスを取得する。
- Twitterのパスワードを見る。

SNSログイン機能のチェックで該当ブログでの機能を有効化します。

SNSログイン使用権限では、SNSログイン機能が使えるユーザー権限を設定します。

3. ユーザーごとの設定

「2. SNSログインのための設定」でブログでのSNSログイン機能を有効にすることで、**該当ブログに所属する各ユーザーの管理画面**にSNSログインのための項目が表示されるようになります。

Twitterログイン、Facebookログインの各ボタンは、各SNSにログインした状態で認証（または認証解除）することで、ログイン情報とこのユーザーが関連づけられます。

ログイン状態がユーザーに関連づけられますので、この設定は管理者が一括ではなく、各ユーザーが個別に行うものとなります。



認証されている場合は「認証」ボタンが「認証解除」に変わって表示されます。

各サービスの認証ボタンを押した時、サービスにログインしていない場合は、各サービスの認証画面が表示されます。ここでログインすることで、このユーザーでのa-blog cmsのSNSログインが有効になります。

ログインするには

SNSログイン機能を有効にした状態で、a-blog cmsのログイン画面を表示すると、通常ユーザーID、パスワードの入力欄の下に、Facebook、Twitterの各ログインボタンが表示されます。

ここまでの設定が行われていれば、ユーザーID、パスワードを入力しなくても、各ログインボタンからログインできるようになります。

🌸 カート機能

カート機能

a-blog cms には簡易的なカート機能が用意されています。商品の購入（カートに投入）して送料の計算などを行う基本的なカートとしての使い方や、購入を伴わず選択した複数の商品（データ）情報を管理者に送信する、といった使い方ができます。

主な機能

a-blog cmsのカート機能は、以下の通りです。
この機能の利用は**管理ページ>カート** から設定できます。

- 商品情報の登録・表示
- 在庫管理機能の有効化
- 税金設定（税率、内税・外税）
- 決済と配送の設定（方法と手数料）
- 配送オプション（配送希望日時とオプション）
- 送料の設定

各項目には[?]マークでヘルプを設けていますので、内容はこちらを参照ください。

ご利用の前に

カート機能の利用には**テーマのカスタマイズとフォームIDの作成が必須**となります。
これらの作成につきましては、サイト制作者、カスタマイズ担当者の方にご相談ください。

Ver. 1.x との違い

Ver. 1.x の有料オプションとして提供されておりました**ユーザー管理、販売管理の機能は用意されておりません。**



レイアウト機能

レイアウト機能とは

a-blog cms では、表示されているページのコンテンツやレイアウトをブラウザ上から追加・変更できるレイアウト機能があります。

レイアウト機能を使うことで、これまでテンプレート（HTMLファイル）への変更が必要だったレイアウトの変更やモジュールの追加が、ブラウザからの操作のみで行えるようになります。

この機能は、a-blog cms に同梱されているテーマ「Site」で利用できます。Siteでの利用を元に説明を進めますが、独自に作成したテーマをご利用の場合には**別途テンプレートファイルに変更が必要です**。レイアウト機能の使用については、**a-blog cmsのテンプレートを作成された方にご相談ください**。

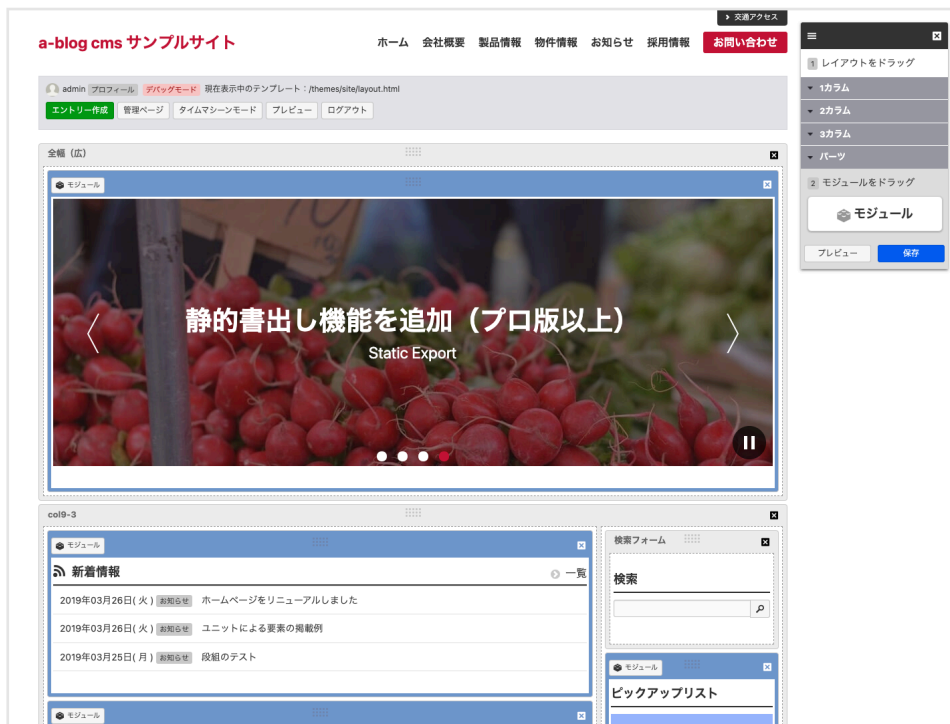
レイアウトの利用開始

Siteテーマのa-blog cmsに管理者としてログイン後、<https://ドメイン/layout.html>にアクセスし、ページ上部に表示されている「レイアウト」ボタンでレイアウト機能の利用を開始します。

レイアウト機能が起動すると、ページ内の各コンテンツがレイアウト（灰色の囲み）とモジュール（青色の囲み）で区切られた表示に切り替わり、画面左上にレイアウト機能の操作パネルが表示されます。



レイアウト機能起動前



レイアウト機能起動後

レイアウト機能を起動した状態。

画面内の各コンテンツがレイアウト枠とモジュール枠で区切られているのがわかります。

レイアウト、モジュールの追加・配置・変更

レイアウト機能では、ページ内でのカラム数などを制御する「レイアウト」と、登録されている情報（エントリなど）をどのように表示するかを制御する「モジュール」のそれぞれを自由に追加・配置・変更できます。

レイアウト機能によるレイアウト、モジュールの追加手順は以下の3ステップとなります。

1. レイアウトの配置
2. モジュールの配置と設定
3. 保存

1.レイアウトの配置

レイアウト枠の項目はカスタマイズの内容により変わりますが、Siteテーマでは、1カラム、2カラム、3カラム、パーツの4カテゴリから配置したいレイアウト枠を選択してドラッグ&ドロップでページ上に配置します。



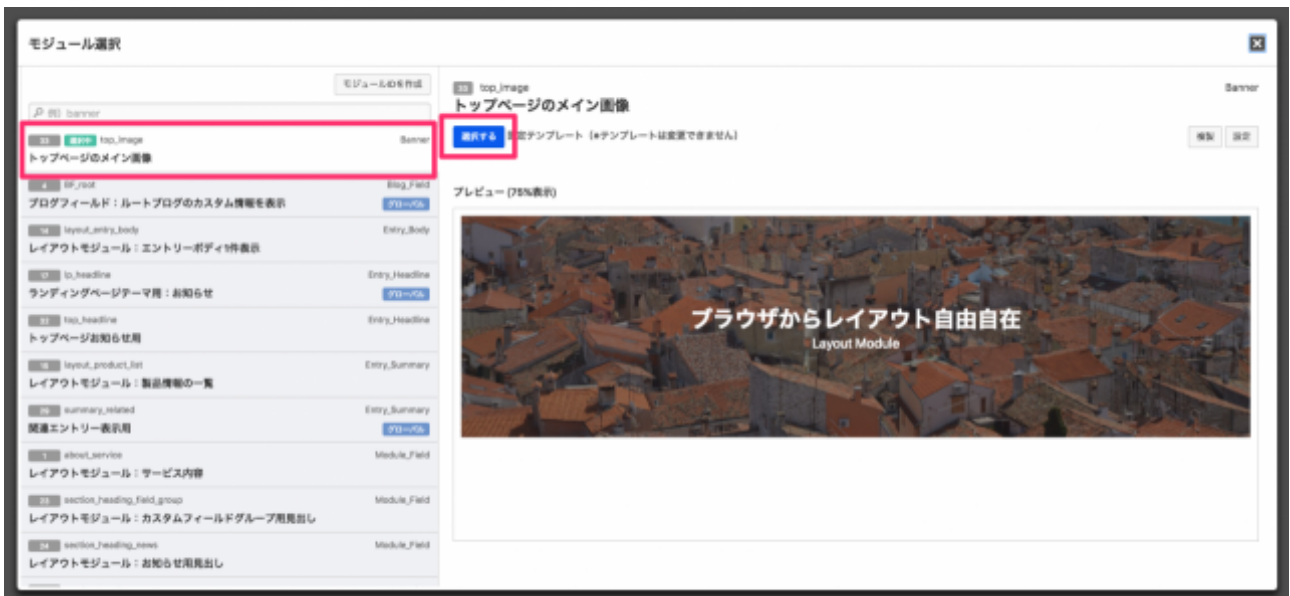
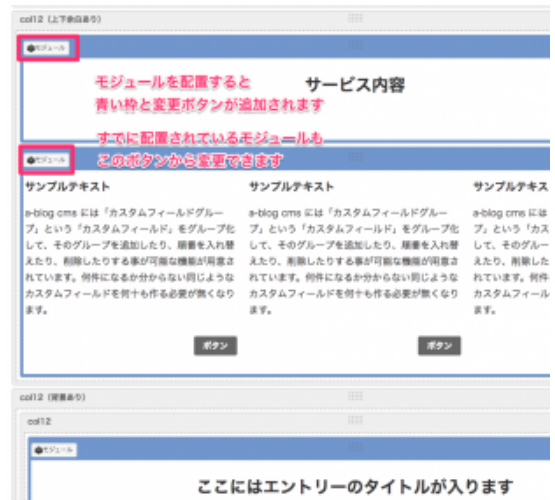
2.モジュールの配置と設定

モジュールについても同様に、ページ内に配置したレイアウト枠にモジュールをドラッグ&ドロップでレイアウト枠内に配置します。

配置後にどのモジュールを表示するかをモジュール変更ボタンから選択します。

モジュール変更ボタンからは、これまでに設定されているモジュールIDを選択できます。表示したい内容のモジュールIDを左端の「選択」ボタンで選択します。

このモジュール一覧で選択したモジュールIDが、枠内に表示されます。これらのモジュールIDについては、レイアウト機能とは別に管理画面からも設定・編集もできます。



3.保存

レイアウトやモジュールは、ドラッグ&ドロップによる追加後も、再度ドラッグ&ドロップすることで自由に再配置できます。

1.と2.の作業を必要に合わせて繰り返し、最終的にレイアウト機能の操作パネルの「保存」ボタンで追加・変更した内容を確定します。実際に保存する前には、レイアウト機能の操作パネルの「プレビュー」ボタンからPC、スマートフォンのそれぞれの変更後の状態を確認できます。

誤ってレイアウトやモジュールを削除してしまった、最初からやり直したい、という場合にはレイアウト機能の操作パネルの右上「X」ボタンでこれまでの変更内容を破棄できます。

プレビューでは、PC・スマートフォンのそれぞれの変更後の状態を確認できる

